

関連専門業務 ⑤研究機関としての発信力強化推進	
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性 <input type="checkbox"/> 主担当として対応した。	
②複雑性 以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 所属組織の研究内容や研究活動、及び所有設備やインフラストラクチャー等につき、概要をまとめたプロモーションビデオなどのメディア・コンテンツの企画・立案を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 学内広報誌に所属組織の研究活動のトピックス記事の連載を行い、学内関係者間で情報を共有することができた。 <input type="checkbox"/> 3. 学外の研究者やステークホルダーを対象に、研究内容に関連する研究公開を開催し、所属組織の研究内容や活動内容を広く周知することができた。 <input type="checkbox"/> 4. 国の科学技術強化分野に対する政策提言の立案支援を行った。	
③重要性 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 研究機関としてのブランド力が上がり、特定の研究分野に対する国からの調査委託業務を受託した。 <input type="checkbox"/> 2. 研究強化分野についての提言が採択され、国の科学技術政策に反映された。	
④学内外貢献 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 自己の業務内容のマニュアル化を行った。	
⑤その他	
業務遂行能力指標	
以下の条件の能力を有する。	
①事業 <input type="checkbox"/> 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。 <input type="checkbox"/> 2. 担当業務に関連する主要な研究機関の方針(ポリシー)を理解している。	
②知識 <input type="checkbox"/> 1. 広報に関する専門知識を有し、研究機関に関わる科学技術の概要を理解している。又は、調査し、把握することができる。 <input type="checkbox"/> 2. 研究機関に関連する大学、研究コミュニティ、産業界、社会の動向を概略理解している。又は、調査し、把握することができる。 <input type="checkbox"/> 3. ウェブサイト設計ツール(例:CMS)を活用して、サイトのデザインができる。 <input type="checkbox"/> 4. 画像作成ソフト(例:イラストレーター)を活用して、ポスターやパンフレットの意匠デザインができる。 <input type="checkbox"/> 5. 個人情報の保護に関する法律(例:個人情報保護法)、ガイドライン、学内規則を理解している。	

③実務

- 1. 研究機関としての発信力強化推進に関する実務(例:研究活動に関係する研究機関としての提言等の立案支援等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 外部の機関との交渉、調整等の作業の進め方等を理解している。
- 4. 関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して、資料作成や説明を行うことができ、会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して、内外関係者と共有し、期日内に業務を終わらせられるよう、内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、関係者に報告・相談し、適切な対処ができる。

④語学

- 1. 関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 海外からの問い合わせに対してメールでやり取りができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者、FA、企業、マスコミ、関係省庁等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則、実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て、連携し、協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し、対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ⑥研究広報関連業務	
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性	<input type="checkbox"/> 主担当として対応した。
②複雑性	<p>以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 所属組織やプロジェクトのウェブサイトのサイトデザイン(構成, コンテンツ, SNS とのリンク設定等)を行い, ウェブサイトの立ち上げに貢献できた。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 所属組織やプロジェクトの研究内容や活動内容をまとめた出版物や電子書籍を刊行し, ウェブサイトにリンクさせることにより, 研究成果をより広く周知することができた。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 所属組織やプロジェクトのパンフレットやポスターの原案を作成し, 研究内容や研究活動を広く周知することができた。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 各研究ユニットに事前に年間のプレス発表, イベント, 学会発表等の計画を提出してもらい, 年間の成果発信のおおよその計画を策定することができた。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 研究成果のアウトリーチ活動として, 一般向けのサイエンスカフェを企画・開催した。当日のアジェンダ, 話題提供内容の選定, プレゼンテーション資料作成支援, 会場の設定等研究者と相談の上実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. アンケート等によるアウトリーチ活動の分析(例:効果の定量化)を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. プレス発表時の記事案作成を支援し, その後の学内広報担当部署との調整や記者取材の対応等を実施した。</p>
③重要性	<p>以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. ウェブサイト上での各種アウトリーチ・コンテンツの充実化により, 研究機関やプロジェクトの認知度, 知名度が上昇した。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. サイエンスカフェの定期的開催等により, 研究成果の定期的な発信が可能となり, 外部とのサイエンスコミュニケーションが活発化した。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 研究成果のアウトリーチ活動において, ウェブサイトやプレス発表を重層的に使用することにより, タイムリーでインパクトのある情報発信が可能となった。</p>
④学内外貢献	<p>以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. プレスリリースの原案作成支援や記事掲載等プロジェクト成果の情報発信を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 自己の業務内容のマニュアル化を行った。</p>
⑤その他	
業務遂行能力指標	
以下の条件の能力を有する。	
①事業	<p><input type="checkbox"/> 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており, 関係者に説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 担当業務に関連する主要な研究機関の方針(ポリシー)を理解している。</p>
②知識	<p><input type="checkbox"/> 1. 広報に関する専門知識を有し, 研究機関に関わる科学技術の概要を理解している。又は, 調査し, 把握することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 研究機関に関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 把握することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. ウェブサイト設計ツール(例:CMS)を活用して, サイトのデザインができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 画像作成ソフト(例:イラストレーター)を活用して, ポスターやパンフレットの意匠デザインができる。</p>

5. 個人情報の保護に関する法律(例:個人情報保護法), ガイドライン, 学内規則を理解している。

③実務

1. 研究広報関連業務に関する実務(例:ウェブサイト掲載内容の立案・デザイン・更新, ニュースレター・パンフレット等の企画・立案, プレス発表の手配や取材対応, 研究会やセミナー等の企画・立案等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。

2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

3. 外部の機関との交渉, 調整等の作業の進め方等を理解している。

4. 関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して, 資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。

5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して, 内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。

6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

7. 関連する研究内容につき, その概要を理解し, 外部に説明することができる。

8. 出版業界やインターネット業界に関する知見を有し, 発注作業に際しての交渉・調整のノウハウを理解している。

④語学

1. 関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。

2. 海外からの問い合わせに対してメールでやり取りができる。

⑤対人

1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業, マスコミ, 関係省庁等)から円滑に情報収集ができる。

2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。

3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。

4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。

5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ⑦イベント開催関連業務	
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性	<input type="checkbox"/> 主担当として対応した。
②複雑性	以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 所属組織の周年記念イベントやプロジェクトの成果報告会等の企画・立案，プログラムの策定，講演者・招待者の選定，イベント会社との交渉等を行い，イベントを成功裏に開催した。 <input type="checkbox"/> 2. 雑誌，ウェブサイトへの掲載やポスターの作成及び手配等を行うことにより，各種イベントを広く周知することができた。 <input type="checkbox"/> 3. イベント開催時にウェブサイト上で，参加登録者を対象に簡単なアンケートや情報配信設定（メールマガジン登録）を行い，参加者分析やその後のフォローアップに役立つことができた。 <input type="checkbox"/> 4. 各研究ユニットに年間のプレス発表，イベント，学会発表等の計画を提出してもらい，イベントの年間スケジュールリングを行った。
③重要性	以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. プロジェクトに関わる各種イベント（例：キックオフ時や期中でのシンポジウム，事後の成果報告会等）を開催することにより，プロジェクト成果を学内外関係者と情報共有すると共に，複数のマスコミによる報道を通して一般に広く周知することができた。 <input type="checkbox"/> 2. 広報業務との連携により，イベント開催に関わる準備，運営，事後処理等を効率的にスムーズに進めることができた。
④学内外貢献	以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
⑤その他	
業務遂行能力指標	
以下の条件の能力を有する。	
①事業	<input type="checkbox"/> 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており，関係者に説明できる。 <input type="checkbox"/> 2. 担当業務に関連する主要な研究機関の方針（ポリシー）を理解している。
②知識	<input type="checkbox"/> 1. 広報に関する専門知識を有し，研究機関に関わる科学技術の概要を理解している。又は，調査し，把握することができる。 <input type="checkbox"/> 2. 研究機関に関連する大学，研究コミュニティ，産業界，社会の動向を概略理解している。又は，調査し，把握することができる。 <input type="checkbox"/> 3. FA の研究経費の管理・会計に関する規定等を理解している。 <input type="checkbox"/> 4. 個人情報の保護に関する法律（例：個人情報保護法），ガイドライン，学内規則を理解している。

③実務

- 1. イベント開催関連業務に関する実務(例:シンポジウム等の企画・立案, プログラムの策定, 講演者・招聘者の選定, 関連する手続きに等の事務部門やイベント会社との調整等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 外部の機関との交渉, 調整等の作業の進め方を理解している。
- 4. 外部の関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。
- 7. 関連する研究内容につき, その概要を理解し, 外部に説明することができる。

④語学

- 1. 関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 海外からの問い合わせや海外からの招聘について, メールでやり取りができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ⑧安全管理関連業務	
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性	<input type="checkbox"/> 主担当として対応した。
②複雑性	以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。 <input type="checkbox"/> 1. プロジェクト内での化学物質の取り扱いについての情報提供や緊急時の対応を学内関連部署と連携して行った。 <input type="checkbox"/> 2. プロジェクト内での遺伝子組換え生物, 病原性微生物, 放射性同位元素等の実験に関する法令等への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して対応した。 <input type="checkbox"/> 3. プロジェクト内での遺伝子組換え実験, 動物実験等に関する各種管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行った。 <input type="checkbox"/> 4. 学内関連部署と共同して, 安全衛生管理に関する各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの安全意識の改善や緊急時の対応の周知により, 事故の低減に貢献した。
③重要性	以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 関連する法令やガイドライン・指針の改訂や更新の動向につき, 常時チェックを行うことにより, 学内関連部署からの通達をよりわかりやすくプロジェクトメンバーに情報伝達することが可能となり, 学内外への対応が素早く適切に行えるようになった。 <input type="checkbox"/> 2. プロジェクト内で使用される危険性物質に関して, 各研究室単位での管理と併行して, 使用状況(該当物質のリストアップ, 使用者, 在庫等)をフォローアップすることにより, 緊急時の対応がよりスムーズとなった。
④学内外貢献	以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
⑤その他	
業務遂行能力指標	
以下の条件の能力を有する。	
①事業	<input type="checkbox"/> 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており, 関係者に説明できる。 <input type="checkbox"/> 2. 担当業務に関連する主要な研究機関の方針(ポリシー)を理解している。

②知識

- 1. 研究開発に係る遺伝子組換え実験等に関する法律, 規則, 省令(例: 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律)を理解している。
- 2. 研究開発に係る動物実験等に関する法律, 指針, 基準(例: 動物の愛護及び管理に関する法律)を理解している。
- 3. 研究開発に係る病原体等に関する法律, 規則(例: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)を理解している。
- 4. 研究開発に係る放射性同位元素等に関する法律, 規則(例: 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律)を理解している。
- 5. 研究開発に係る薬品等に関する法律(例: 毒物及び劇物取締法, 薬事法)を理解している。
- 6. 研究開発に係るその他安全衛生管理に関する法律(例: 労働安全衛生法, 消防法, 高圧ガス取締法, 学校教育法)を理解している。
- 7. 学内の安全管理規程や安全衛生管理体制, 管理システム(例: 薬品)を理解している。
- 8. 安全衛生管理に関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 海外, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 把握することができる。

③実務

- 1. 安全管理関連業務に関する実務(例: 薬品等の取り扱い, 遺伝子組換え動植物生物, 病原性微生物, 放射性同位元素等の実験に関する法令等への適合性確認や定期的な運用状況の確認)の専門的事項(例: 実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して, 資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 4. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。
- 5. 関連する研究内容につき, その概要を理解し, 外部に説明することができる。

④語学

- 1. 関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 各種問い合わせに対してメールでやり取りができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例: 学内関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例: 規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ⑨倫理・コンプライアンス	
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性	<input type="checkbox"/> 主担当として対応した。
②複雑性	<p>以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 研究倫理の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 医学研究の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 利益相反に関する情報提供や緊急時の対応、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 輸出管理に関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 個人情報保護の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 研究資金の適切な使用に関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 前記1.～6. 以外のコンプライアンスに関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。</p>
③重要性	<p>以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 関連する法令や指針・ガイドラインの改訂や更新の動向につき、常時チェックを行うことにより、学内関連部署からの通達をよりわかりやすくプロジェクトメンバーに情報伝達することが可能となり、学内外への対応が素早く適切に行えるようになった。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. プロジェクト内での被験者の選定を含む研究のプロトコル、研究者の利益相反の状況、海外出身の研究者の参加を含む機微技術の取り扱い等の状況をフォローアップすることにより、緊急時の対応がよりスムーズとなった。</p>
④学内外貢献	<p>以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。</p>
⑤その他	

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。
- 2. 担当業務に関連する主要な研究機関の方針(ポリシー)を理解している。

②知識

- 1. 研究倫理に関する指針やガイドライン, 学内規則を理解している。
- 2. 医学研究に関する指針(例:ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針)やガイドライン, 学内規則を理解している。
- 3. 利益相反に関する指針(例:厚生労働科学研究における利益相反の管理に関する指針)や学内規則を理解している。
- 4. 輸出管理に関する法律(例:外国為替管理法), 指針, ガイドライン, 学内規則を理解している。
- 5. 個人情報の保護に関する法律(例:個人情報保護法), 指針, ガイドライン, 学内規則を理解している。
- 6. 研究資金の適切な使用に関する法律(例:補助金適正化法), 指針, ガイドライン, 学内規則に関する規則を理解している。
- 7. 前記1. ~6. 以外の大学のコンプライアンスに関する規則を理解している。
- 8. 前記1. ~6. に関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 把握することができる。

③実務

- 1. 研究倫理, 医学研究, 利益相反, 輸出管理, 個人情報保護, 情報公開や特定秘密保護, 研究費の適正な実施等に関する実務(例:研究活動の適正な実施に関する指針や学内規則, 研究におけるミスマンダクトの事例, 研究者の利益相反に関する指針や学内規則, 輸出管理法制や関連学内規則等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 前記1. に関連して, 外部の機関との交渉, 調整等の作業の進め方等を理解している。連携機関の規則を確認することができる。
- 4. 関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して, 資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して, 内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。
- 7. 関連する研究内容につき, その概要を理解し, 外部に説明することができる。

④語学

- 1. 関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 各種問い合わせに対してメールでやり取りができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 監督機関等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。